

信州のしあわせを、共に考え、共に創り出していくために。



■表紙について

長野大学生の被写体協力のもと、信州大学繊維学部講堂（長野県上田市）で撮影しました。この講堂は、国の登録有形文化財、近代化産業遺産にも登録されており、信州大学繊維学部の前身、上田蚕糸専門学校
の校舎として文部省の柴垣鼎太郎の設計により、昭和4年（1929）に建てられました。

発行：2024年3月22日

自分が描く明日へ。

誰かが描いた今日から、



ShinXia

シンシア

「しあわせ信州」を
創造する
地域活性化高度人材
育成プログラム

学生の主体的な選択を社会は邪魔できない。社会からの学生への期待は大きいですが、社会はあくまで学びの伴走役。
地域活性化高度人材育成プログラムShinXiaでは、学生の主体性をどう引き出すかを追求します。



一人ひとりが、未来を描き、
未知の可能性を切り開くチカラを持っている。

「はじまりはいつもひとりの問いや志」

世に問う勇氣から、他者との語り合いは始まる。

「共感が広がり、賛同者が増える」

革新的なアイデアや技術が生まれる。
そして、自分も周りも地域もまた一歩、歩みを進める。

「新しさや変化が必ずしも正しいとは限らない」

新たな問題を生み出し、私たちが追い詰めることだって起こりえる。
正解のない世界が目の前に広がっている、ということ。
だからこそ問われる個人の価値観、それを支えるSTEAM／文理横断の学び。

「自分たちの手で未来を明るくしよう」

自分ひとりで責任を背負い込む必要もない。
さあ、信州で未知(X)の可能性を切り拓き、
これからのしあわせを実現するための、
知を加速する(Intelligence Acceleration)プログラム「ShinXia」で学びを深めよう！

文理融合を推進するため
STEAM教育の授業群を
設定します



オンテマンド型の授業を通じて、「生物とは何か？」という問いを起点に信州の豊かな自然の中で観察される生き物の相互作用を考えたり、ミクロ経済学の基本的な考え方をを用いて、経済現象を理論的に解釈したりするなど、問題の本質を理解するために必要な基礎的な知識を身に付けることができます。

授業群「リベラルアーツ」のなかに
地域活性化人材育成に直結する
下位授業群を設定します



小平奈緒(信州大学特任教授・「立志学」担当教員)

信州が持つ風土とそこに暮らす人々の自然・文化・産業に理解を深めます。信州に生きる人の営みと別の大学・学部・学科の学生との対話を通じて、さまざまな視点や価値観に触れ、信州で暮らす一員として、信州に関心を寄せ、向き合うべき問いが何かを考える機会を提供します。

学修における教養と
専門の互恵性を強化するため
1年次から4年次まで
段階的に授業を配置します

1～2年次

豊かな文理横断的な教養を身に
付け、探究心・創造的思考力・実践
的行動力を育みます。

3～4年次

大学・学部・学科を超えたプロジェ
クト学習等への参加を通じて実践
と能力の磨き上げを行います。

プログラムの全体像

プログラム対象者

令和6年度以降入学の学生（対象学部・学科は以下のとおり）

- 信州大学** 経法学部 応用経済学科 / 工学部 物質化学科 / 工学部 電子情報システム工学科
繊維学部 先進繊維・感性工学科 / 繊維学部 化学・材料学科
- 長野大学** 社会福祉学部 社会福祉学科
- 佐久大学** 人間福祉学部 人間福祉学科（令和7年度入学生から適用）

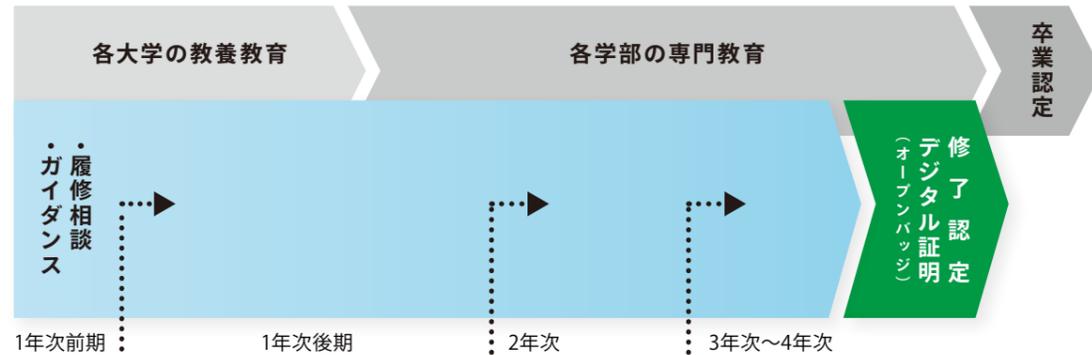
修了認定要件とプログラムの概要（カリキュラム・マップ）

修了認定要件

☑ 必修6単位を含む10単位を修得することで認定される

プログラムの概要

- 「データサイエンスリテラシー」「信州学」「地域課題解析講座」「経営組織論」を受講する（必修）
- 【科学】から2単位、【工学・環境】から2単位を受講する（選択必修）
- 3年次以降、「地域課題PBL」（Project Based Learning / 課題解決型学習）を受講する（必修）
- ①～③の10単位に加え、興味に応じて選択科目が履修可能



*1) 信州大学生は所属学部の指定クラスで履修してください。 *2) 「インターンシップ」の単位数は、大学・学部によって異なります。

科目一覧

科目で身に付けられる
地域活性化人材の能力等
(6ページ参照)

カテゴリ	授業名	単位数	対象学年	必修/選択	信州大学での科目区分	α β γ
数理的思考 (M)	統計リテラシー	2	1年	選択	基盤系-統計	α β γ
	データサイエンスリテラシー 【信大生は所属学部の指定クラスで履修】	1	1年	必修	基盤系-データサイエンスリテラシー	α β γ
科学 (S)	物理学の世界【R7～】	2	1～2年		教養系-物理学の世界	α β γ
	化学の世界	2	1～2年	8単位から2単位を 選択必修	教養系-化学の世界	α β γ
	生物学の世界	2	1～2年		教養系-生物学の世界	α β γ
	地学の世界	2	1～2年		教養系-地学の世界	α β γ
工学・環境 (T&E)	工学入門	2	1～2年	4単位から2単位を 選択必修	教養系-工学入門	α β γ
	環境学入門【R7～】	2	1～2年		教養系-環境科学	α β γ
リベラルアーツ (A)	信州学	1	1年	必修	教養系-社会学	α β γ
	立志学	1	1年	選択	教養系-社会学	α β γ
	地域課題解析講座【R7～】	1	2～3年	必修	教養系-社会学	α β γ
	地域課題PBL【R8～】	2	3～4年	必修	教養系-社会学	α β γ
	ミクロ経済学入門	2	1年	選択	教養系-経済学・経営学	α β γ
	経営組織論【R7～】	1	2年	必修	教養系-経済学・経営学	α β γ
	社会福祉の考え方	2	1～3年	選択	教養系-社会と健康	α β γ
	地域と福祉【R7～】	2	1～3年	選択	教養系-社会と健康	α β γ
	インターンシップ	1～2*1	3～4年	選択	専門科目	α β γ
総合	インターンシップ	1～2*1	3～4年	選択	専門科目	α β γ

※今後科目が増える予定です。対象者には別途お知らせします。 ※対象学年は目安であり、下限学年より上の学年であれば受講可能です。

*1) 「インターンシップ」の単位数は、大学・学部によって異なります。

履修登録方法

信州大学	1年次前期	他の共通教育科目同様にShinXiaコース対象科目の履修登録を行ってください。ShinXiaコース選択希望者は、授業の抽選に応募する際に、「ShinXiaコース希望者」欄に忘れずにチェックを入れてください。	1年次後期以降	他の科目と同様、履修登録を行ってください。
	信州大学生のShinXiaコースへの登録は、1年次後期からです。ShinXiaコース履修希望者を対象に、前期中に説明会を開催します。説明会において、コース登録方法の詳細をお知らせします。			

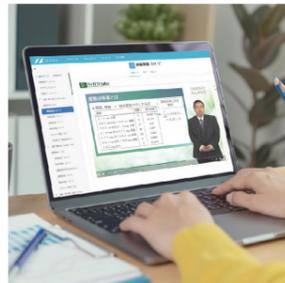
長野大学 社会福祉学部社会福祉学科の学生は、必修科目については登録必修となり、事務局で履修登録します。選択科目については、通常どおり履修登録を行ってください。

※佐久大学の学生は、令和7年度入学生から履修可能になります。

学びを加速するために

ShinXiaの最初の入り口はここ！ ShinXia-LMS

ShinXia (SPARC) の受講スタイルのほとんどが「オンデマンド型」で、ShinXia-LMS (Learning Management System) を通じて配信します。何はともあれ、まず、ShinXia-LMSにアクセスしてみましょう。以下のとおり、アクセス方法が大学により異なりますのでご注意ください。なお、授業ごとのページを「コース」と呼びます。



◆ShinXia-LMSのアクセス方法

信州大学	<p>履修登録前: eALPS アクセス後、「年度共通サイト」欄の「ShinXia-LMS」からアクセスし、コースを閲覧したい授業名で検索をしてください。</p> <p>履修登録後: eALPSの時間割に表示される授業名をクリックすると、自動的にShinXia-LMSに遷移します。</p> <p>※eALPSの利用方法は「共通教育履修案内」に掲載されています。</p>
長野大学 ・ 佐久大学	<p>https://sparc.nagano.jp/students/ または右の二次元コードにアクセスし、各大学から案内されたユーザー名とパスワードを入力してログインしてください。</p> <p>履修登録前: コースを閲覧したい授業名で検索をしてください。</p> <p>履修登録後: 表示される授業名をクリックすると、その授業のコースにアクセスできます。</p>

ShinXia-LMSは、オンデマンド型の授業以外でも利用しますので、対象者は定期的に確認するようにしましょう。授業の配信以外にも、教材の掲載、課題の提出、小テストや授業アンケートの実施など単位修得までの間になすべきことが表示されます。また、フォーラム（電子掲示板）機能を活用して、意見交換することも可能です。

多様なデジタル機器が揃っています！ ShinXiaものづくりスポット

ShinXiaものづくりスポットには、3Dプリンタやレーザーカッター、大型インクジェットプリンタなどのアイデアを形にする機器が設置しており、信州大学（松本・長野（工学）・上田キャンパス）および長野大学にあります。本プログラム対象者限定で利用できるスペースですので、地域課題の解決に向けた試作品づくりなどShinXia (SPARC) 科目の履修にあたってぜひご利用ください。利用方法は、各大学、キャンパスにより異なります。確定次第、対象者にお伝えします。



一緒にShinXiaプログラムをアップデートしよう！ ShinXia学生パートナー

「ShinXia (SPARC)」は学生を学びの主体者として中心に据え、学生、大学教職員、地域が一体となって推進することで成り立ちます。互いを理解し、刺激を与えながら共存共栄を図ることで、教育の質と持続可能性を高め、地域活性化人材の層を厚くすることにつなげます。この時、教育サービスの受け手にとどまる学生ばかりではないでしょう。学生が自らの学びの仕組みを自ら作っていくのであれば、学生のニーズに沿ったShinXiaが実現できます。ShinXia (SPARC) 科目の運営サポート、社会との関係性づくり (PR) やイベント企画・運営、さらには、地域課題PBL (チームで地域に飛び込み地域課題に取り組む実践体験型科目) のテストプログラムに参加し、改善アイデアを出すことで学修者本位のプログラムづくりにつなげます。



ShinXiaが目指す未来像

ShinXiaを通じて育成する地域活性化人材が有すべき能力

ShinXia (SPARC) では、「主体的な学びによって地域の問題を自ら解決し未来を選択できる人材」を「地域活性化人材」と呼び、各授業科目や学びを加速させる各システム等を通じて、以下の知識・技能、能力や態度を身に付けた人材の育成を行います。

地域活性化人材に向けて育成すべき3つの能力等

α 信州の活性化に係る知識・技能

β 信州の活性化に係る課題を発見・解決するための思考力・判断力・表現力等

γ 信州の活性化に係る課題を主体的・対話的に発見・解決しようとする態度

ShinXiaが目指す教育の質保証について

ShinXia (SPARC) プログラムが、地域活性化人材に向けて育成すべき3つの能力等（以下「3つの能力等」）を身に付けられる内容になっていることを保証できるよう、プログラムや授業の内容について継続的な改善活動に取り組みます。また、学生が自分の目標に照らし合わせ、必要な学びを自分から始めるプロセスに着目します。

ShinXia (SPARC) では、授業ごとに定められる「到達目標」や「3つの能力等」の達成度に関して、学生が自己評価をし、成績評価と比較しながら学びの「振り返り」を行い、次の「学修計画」を作る学びのサイクルづくりをシステム面からサポートします。

システムへの接続方法や活用方法等の詳細は、対象者にガイダンス等で説明します。

◆学生がシステムへ入力するサイクルのイメージ (1年生)

内容	前期	後期	
科目ごとの「到達目標」に対する自己評価	▶	▶	各科目の授業アンケートと同時に行います。シラバス記載の到達目標に対する実感を基に自己評価します。
「地域活性化人材に向けて育成すべき3つの能力等」に対する自己評価	*1	▶	プログラムや他の授業等を通して3つの能力等が身に付いたかどうかの実感を基に自己評価します。
学修計画と振り返り		▶	自己評価と成績評価を比較し、自身の成長実感も踏まえて学修計画を考えます。

*1) 令和6 (2024) 年度は、「地域活性化人材に向けて育成すべき3つの能力等」に対する自己評価を「後期」から始めます。

ShinXia学生パートナー説明会兼交流会を開催

ShinXia担当教員やShinXiaに関わる学生、履修を希望する学生などとの顔の見える関係づくりを主目的とするShinXia学生パートナー説明会を定期的に行います。信州大学、長野大学、佐久大学の学生であれば誰でも申し込み不要で参加できます。

開催日
毎週水曜日（対面）／毎週金曜日（オンライン）
4月から6月までの間（祝日は除く）
初回 ▶ 水曜日：4月10日／金曜日：4月12日
最終回 ▶ 水曜日：6月26日／金曜日：6月28日

場所
対面：信州大学松本キャンパス 共通教育第1講義棟 南校舎 4階 佐々木・川地研究室
オンライン：ShinXia-LMSで表示